

## 学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

### 【全国学力・学習状況調査結果の概要】

#### 成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の国語では、「言語の特徴や使い方に関する事項」において全国平均を上回る高い正答率でした。この他にも、「読むこと」についての設問も、正答率が高い傾向にあります。算数では、「数と計算」の正答率が全国平均より高く、朝の「ぐんぐんタイム」等により、基礎的な計算力が定着してきていると考えられます。

質問調査紙の結果から、「家で、計画を立てて勉強をしていますか」の設問では、「している」と回答した児童は46%と、昨年度の調査と比較して3%上昇していました。昨家庭学習への意識が高さは、児童への学校からの啓発とともに、保護者の方々のご協力が反映されているものと思われま。

#### 課題と対応

国語では、「話すこと・聞くこと」で、目的に応じて話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える問題において正答率が低く、課題が見られました。そこで、話の構成（事実と感想、意見の違い）を意識しながら文を読むという指導をしていきたいと考えます。算数では、「図形」の面積を求めることについて正答率が低く、課題が見られました。授業ではもちろんのこと、朝の「ぐんぐんタイム」などでも、基礎的な問題に取り組むことによって、学習内容の定着を図っていきたく考えます。

質問紙の結果から、全国平均と同レベルではありますが、国語が好きという項目、算数では、あきらめずにいろいろな方法で考えるという項目でやや低い傾向がありました。児童が「楽しい・分かる・できた」と実感できるような授業づくりを進めていきたいと考えていきます。

### 【保護者・学区の方へのお願い】

全国学力・学習状況調査の結果から、自己肯定感の高まりや生活習慣の定着が図られ、自主的に学習に取り組もうとする意識が徐々に高まってきていることが分かりました。引き続き、児童が安定して学習に取り組むことができるように、児童のがんばろうとする姿勢を認め、励ましていただけると幸いです。

さらに、学習意欲に深く関わる自己肯定感の育成や生活習慣の定着を目指し、校内や中学校区で取り組んでいる「親子読書タイム」や「メディアコントロール」などを生かして、児童の話にしっかりと耳を傾けられることを、これからも継続してお願いいたします。

## 令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

## 成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	目的や必要に応じて書くことができる。
	社会	スーパーマーケットの消費者を意識した販売の工夫を理解している。
	算数	少数や整数、真分数の計算ができる。
	理科	昆虫の成長や行動の特徴を理解している。
	学習状況	社会・算数・理科で学習した内容がよく分かっていると考えている子どもが多い。
第5学年	国語	物語文で、登場人物の気持ちや場面の様子を、叙述を基に理解することができる。
	社会	ごみの処理の仕方の工夫や、ごみの減量についての対応の仕方を考えることができる。
	算数	折れ線グラフを理解し、読み取ることができる。
	理科	気温と天気、気温と植物の成長の関係を考えることができる。
	学習状況	どの教科においても、学習した内容がよく分かっていると考えている子どもが多い。

## 課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	主語と述語の構成の理解に課題がある。	国語科においては、文の構成に着目し、構成のよさや文の中心課題を理解できるよう復習していきたい。今後の授業を通しての改善策としては、教材文や資料から読み取れることを言葉で表現できるよう丁寧に指導を行っていきたい。また、各教科で資料を準備し、資料から読み取ることができることと今までの知識を関連付けて考える場面を意図的に設定していきたい。学習状況については、家庭学習に取り組む時間の目安や内容を提示した手引きは作成しているが、発達段階により応じた内容になるよう見直しを図り、目標をもって取り組むことができるよう進めていきたい。
	社会	地図から情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	長文を読み、知識を活用して問題を解くことに課題がある。	
	理科	いくつかの情報から推測することに課題がある。	
	学習状況	家庭での学習時間が短い子どもが多い。	
第5学年	国語	説明文での筆者の費用減の工夫を読み取ることに課題がある。	国語科については、説明文で接続後・文末表現・全体の構成などを読み取っていく上で大切なこと（筆者の工夫）に気付くような場面を必要に応じて取り入れたい。また、表やグラフなど複数の資料をつなげて考えたり、比較をしたりする場を多くし、言葉で表現できるようにしたい。理科においては、結果を的確に表す言葉をしっかり使ってまとめ、普段の生活に結び付けて考える学習経験を積み重ねたい。学習状況については、家庭学習に取り組む時間の目安や内容を提示した手引きは作成しているが、発達段階により応じた内容になるよう見直しを図り、目標をもって取り組むことができるよう進めていきたい。
	社会	資料から問われていることを読み取ることに課題がある。	
	算数	変わり方の表を見て、きまりを使って計算することに課題がある。	
	理科	動物が体を動かす仕組みについて、様子を言葉で説明することに課題がある。	
	学習状況	学校の授業以外に、家庭学習に費やす時間が短い傾向が見られる。	

【保護者・学区の方へのお願い】

中学校区で取り組んでいる「メディアコントロール」では、読書の時間を確保したり、メディアオフの時間を決めたりと、よい生活習慣に向けてご協力をいただいているところです。しかし、1日あたりの家庭学習に費やす時間が短いという傾向が数年続いています。家庭で学習について話題にすることにより、学習への意欲を引き出したり環境づくりをしたりしてくださるよう、ご協力をお願いいたします。